

科目名 (科目番号)	医療安全管理 (074361)	教員名 齋藤 江利子	学科等	看護	必修	履修年次	4
			曜日・時限等	集中講義		単位数	1
			オフィスアワー			非常勤講師	
授業概要	看護職は医療専門職として安全で質の良い医療を提供する責務を負っている。医療行為自体が人の身体に侵襲を加える行為であることから、望まない副作用や合併症などが、ある程度の頻度で発生する事は避けられない。しかし、予防できる事故は防ぎ、人々の医療への期待と信頼を裏切らないようにしなければならない。ここでは、わが国の医療安全対策や医療現場で取り組まれている安全対策の概略、事故発生メカニズムと発生防止の考え方、自分自身の力で医療事故を回避する方策などについて学習する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をする。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	医療安全と看護の理念	到達目標: 医療安全を学ぶことの重要性について理解する。 学習内容: 医療安全に関する基礎知識、看護職の法的規定について学習する。				
	2	医療安全への取り組み	到達目標: 医療安全への取り組みと医療の質の評価について理解する。 学習内容: 国や看護職能団体の取り組み、医療事故の報告制度について学習する。				
	3	事故発生メカニズム	到達目標: 事故発生メカニズムについて理解する。 学習内容: 人間の基本特性とエラーを発生しやすい環境との関係について学習する。				
	4	事故分析の考え方と事故対策	到達目標: 事故分析の考え方と方法、エラー対策の考え方について理解する。 学習内容: 事故の構造、事故分析の目的、分析手法の特徴について学習する。				
	5	安全文化の醸成	到達目標: 安全文化とは何かを理解する。 学習内容: 患者・家族との協同、医療安全管理者の役割、安全文化について学習する。				
	6	看護業務と医療事故	到達目標: 看護業務を行う際の環境の特徴と医療事故の種類を理解する。 学習内容: 看護業務の特徴的な環境とリスク、主な医療事故の種類について学習する。				
	7	医療事故の分析と対策①	到達目標: 「誤薬・輸血」に関する事故の背景、要因、対策を理解する。 学習内容: 「誤薬・輸血」に関する事故の分析と対策について学習する。				
	8	医療事故の分析と対策②	到達目標: 誤認や針刺し、誤嚥、異物遺残に関する事故の背景、要因、対策を理解する。 学習内容: 「誤認・針刺し・誤嚥・異物遺残」に関する事故の分析と対策について学習する。				
	9	医療事故の分析と対策③	到達目標: 転倒転落や皮膚障害に関する事故の背景、要因、対策を理解する。 学習内容: 「転倒転落・皮膚障害」に関する事故の分析と対策について学習する。				
	10	医療事故の分析と対策④	到達目標: 医療機器類や情報伝達に関する事故の背景、要因、対策を理解する。 学習内容: 「機器類・チューブ類・情報伝達」に関する事故の分析と対策について学習する。				
	11	在宅看護における医療事故	到達目標: 在宅看護で起こりうる事故の実際と防止策について理解する。 学習内容: 在宅看護の現状、在宅看護における医療事故とその対応について学習する。				
	12	医療従事者の安全とリスク	到達目標: 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策について理解する。 学習内容: 感染の危険、医療機器、医療品、労働形態に伴うリスクについて学習する。				
	13	医療事故後の対応	到達目標: 事故発生時の対応と紛争化防止対策について理解する。 学習内容: 事故発生時の初期対応の考え方と方法、紛争化の防止対策について学習する。				
	14	看護学生の実習と安全	到達目標: 実習中の事故予防および事故発生時の学生の対応について理解する。 学習内容: 卒業までに習得すべき看護技術のリスクと安全について学習する。				
15	KYT(危険予知トレーニング)	到達目標: 危険予知能力を高める方法について理解する。 学習内容: KYT(危険予知トレーニング)の実際について学習する。					
成績評価の方法・基準	筆記試験100%(論述式問題40%+選択式問題60%)						
教科書	ナーシク・グラフィカ 看護の統合と実践② 医療安全		松下由美子 杉山良子 小林美雪		メディカ出版		
参考図書							
教員からのメッセージ	医療現場では、医療安全の推進を中心的に担う看護職への期待が高まっています。医療安全に関する知識・技術を学び、主体的に安全を守る術を習得しましょう。 論述式問題(レポート)はコメントを付して返却します。						